

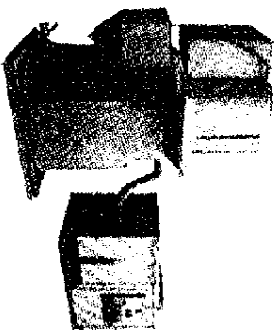
環境関連技術開発の伸洋産業株式会社 プレミアタルプロダクツ社と 商用ドライ生ゴミ消滅機 ウエット生ゴミ消滅機の技術提携

環境関連技術開発の伸洋産業株式会社（広島県福山市、竹中伸太郎社長）は3日、IZUMIビジネスソリューション社（ニユーソリューション市、エスター郡クロトンオシハバトン市、オガスタス今泉江利子社長）の伸介と、およびアトバイスにより、プレミアタルプロダクツ社（イリノイ州ウエストシカゴ市、ジム・スライナ社長）と、商用ドライ生ゴミ消滅機とウエット生ゴミ消滅機の技術提携契約を交わしたことを発表した。

同社開発による発酵基材を元に、どの焼却、埋め立て地などへの廃棄を抑え、地球環境保全対策として、全世界から注目されている。

「バイオオ常温発酵」②無ガス発酵野菜、果物、肉類、麺類から魚骨・卵殻まで、大型骨を除いたもの④ドライ発酵分解消滅技術は無給水、無排水構造、ウエット水中分解消滅技術は有機液⑤ドライ発酵は1回/1年、水中分解は1回/4年のメンテナンスが挙げられる。維持コストをその技術力によって極限まで押さえ、高回収費用、廃棄費用が毎年7%弱ずつ上昇していることから、生ゴミ完全消滅への需要が高いと判断、今回の契約へとつながった。

ウエット水中生ゴミ消滅機



地方機関、ト等ラに持環境開発はプラクタ社への技術指導を通じて、全米スパーマーケット、病院、政府機関など、ドサエを指す。また現在、トラシア社を通じて英国、オーストラリア、積極的に提携を図ることとで世界市場を制覇したい考え。同時に、同社の持つ瞬間解凍機、既存動力利用の自家発電機、ウレトルトパック水中破砕洗浄装置、ウイルス滅菌加湿器等の技術の提携案件も進行中。

問い合わせはwww.shinyoh.com またはwww.izumbusiness.comまで。

「週刊ビジネス」2009年4月17日号